

Minami Kyushu University Syllabus									
シラバス年度	2025年度	開講キャンパス		宮崎キャンパス		開設学科	国際教養学科		
科目名称	キャリアビジネス論						授業形態	講義	
科目コード	534115	単位数	2単位	配当学年	2	実務経験担当教員	○	Active・L	○
担当教員名	柚木崎 千春							ICT活用	
授業概要	学生はこれまで、社会人として活躍するために「基礎学力」、仕事に必要な「専門知識」や「基本的なマナー」など多くの授業科目を学修することで、自らの進路やライフデザインについて考えてきました。 さらに、この授業では社会で自分らしく生きるために必要な「教養とは何か」をあらためて問うことを試みます。教員から提供される情報（チャプター毎のテーマ）から、教養に「たしなみ・楽しみ・あそび」などのキーワードを組み合わせることにより、そこから導かれる関心・興味から「教養を身に付ける」方向性を得られるのではないかと考えます。毎回の授業で示されるテーマは多いとは言えませんが、受講生の関心・興味に伴い深掘することにより、自己肯定感や自信に繋がる多くの気づきが得られることを期待し組み立てられた授業内容です。企業において秘書職の実務経験を有する教員が本授業を担当します。								
関連する科目	キャリア開発実習, キャリア入門, キャリア・デザイン								
授業の方法と進め方	講義と演習を織り交ぜて15回の授業が組まれてしており、第4回、5回は美術館にてアート鑑賞、第6回～8回は外部講師による「美」を意識した講義・演習・実技を取り入れている。これまで、秘書学概論、キャリア入門、キャリア・デザインと学びを深め本授業が集大成となるよう考え構成された授業である。「教養とは何か」を自己に問いかけ自分なりの回答が得られ、自己肯定感に繋がるあらゆる環境を提供するよう構成されている。								
第1回	オリエンテーション ① 授業の進め方、評価方法、課題・レポートについて ② 事前・事後学習（授業時間外の学習）について								
第2回	ライフデザインに繋がるこれまでの履修科目との関係について								
第3回	「教養とたしなみ」、「教養と楽しみ」さらに「教養とあそび」について考える								
第4回	「美術館」へ行こう① ・美術館に何を求めていくのか ・アートと対話するとは								
第5回	「美術館」へ行こう② ・学芸員からのアドバイス「美術館の楽しみ方・・・瑛九の世界」など								
第6回	「和」を楽しむ① ・和のうつわの魅力（テーブルコーディネート） ・季節を意識した設えなど								
第7回	「和」を楽しむ② ・「きもの」の魅力について ・歴史や文化について								
第8回	「身だしなみとおしゃれ」 ・“ふさわしい”と“らしさ”を意識したカラーコーディネートや香りについて								
第9回	「冠婚葬祭」の知識① ・その時では間に合わない必要な知識（慶弔見舞の文章など）								
第10回	「冠婚葬祭」の知識② ・その時では間に合わない必要な知識（ドレスコードなど）								
第11回	「人生のデザインとお金」 ・人生の不確実性と意思決定 について								
第12回	「不確実な人生に船出する」 ・お金の機能や特徴・セーフティネットを理解する								
第13回	「おもてなし」のしくみについて① ・「AI」も「ブラック・プラチナのクレジットカード」も通用しない350年以上続くビジネス業界に学ぶ								
第14回	「おもてなし」のしくみについて② ・マニュアル化できないからこそ「おもてなし」								
第15回	振り返りとまとめ：「私の魅力再発見」気づきをデザインする ※成果レポートを指定日迄に提出する								

授業の達成目標	①「教養とたしなみ・楽しみ・遊び」の関係から「教養ともてなしのビジネス」への関心・興味を持てる。 ② 一連の学びから、自己への関心を深め、自身の魅力に気づき、自己肯定感と自信を得る。 ③ 社会の中で能力を発揮し「人材」として自分の役割を果たすことと「自分らしく生きる」意欲に繋がる。 【学士力＝知識・理解＋汎用的技能＋態度・志向性】
学修成果との関連	1.自ら考える能力を有する。／4.多文化・異文化に関する基本的知識を有する。
授業時間外学習【予習】	【予習】毎回の授業で予告されるテーマや課題について、関連する情報を収集する。 授業で学習したことを復習し応用・考察することが次回授業の準備に繋がるので、授業ごとにレポートの提出を課す課題にかかる時間を確保すること。レポート作成にかかる時間は個人差があると考えられるため（2時間程度を想定）、特に第15回の授業内容はボリュームがあるので、課題提出期限の厳守と受講生の能動的取り組みに期待する。
授業時間外学【復習】	【復習】授業で学習したことを復習し応用・考察することが次回授業の準備に繋がるので、授業ごとにレポートの提出を課す。 毎回の授業で予告されるテーマや課題について、関連する情報を収集する。 課題にかかる時間を確保すること。レポート作成にかかる時間は個人差があると考えられるため（2時間程度を想定）、特に第15回の授業内容はボリュームがあるので、課題提出期限の厳守と受講生の能動的取り組みに期待する。
課題に対するフィードバック	毎回の授業終了ごとにレポート提出を課し、翌週の授業時に振り返り・情報（学びや疑問）の共有をする。
評価方法・基準	課題・レポート提出（50点） 授業への取り組み（20点） 学期末の成果レポート提出（30点）
テキスト	テキストは特に指定せず、必要に応じてプリントを配付する。
参考書	授業中に適宜紹介する。
備考	・本授業の履修を希望する学生は、2年次前期開科目「キャリア・デザイン」の単位を取得していることが望ましい。詳細は初回授業時に説明する。 ・外部講師の都合により授業計画の順番を変更する可能性がある。